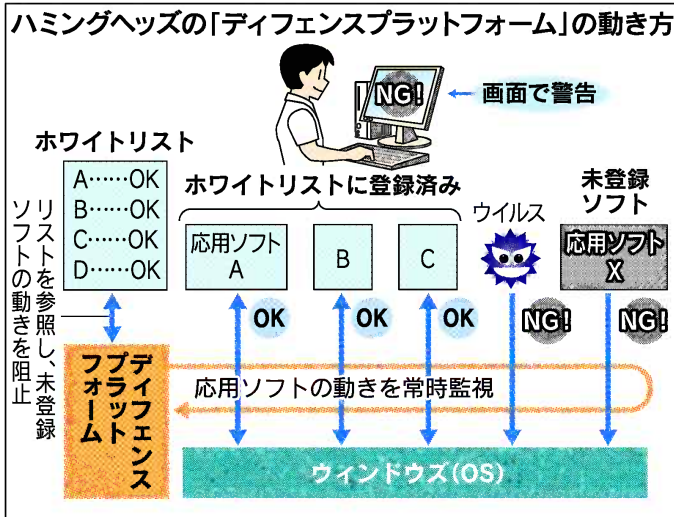


ハミングヘッドズがソフト

未知のウイルス封じ込む



ソフト開発のハミングヘッドズ（東京・中央、大江尚之社長）は未知のコンピュータウイルスの攻撃からパソコンを守る新型セキュリティソフトを開発した。パソコンに組み込まれたソフトの動作を登録しておく、それ以外の動きを検知して停止させる。専用のウイルス付きメールなどを使って特定の企業への侵入を狙う「標的型サイバー攻撃」からパソコンを守る。

新ソフト「ディフェンスプラットフォーム」を9月に発売する。基本ソフト（OS）とアプリケーションの通信を監視する「ハミングヘッドズ フォーエレメンツ（H4E）」と呼ぶ機能を搭載する。アプリケーションの動きを許可リスト（ホワイトリスト）に登録しておけばH4Eはそれ以外の動きを検知し遮断する。ホワイトリストには業務で使うソフトのほか、メールを送ってよいアドレスや閲覧を許可するサイトのアドレス、いつも使うプ

PC端末内で無力化 標的型攻撃に備え

ランナーのアドレスなどを登録する。運用に移る。ウイルスが動作しなれば検知できないうえ外部に送信する動きやソフトやデータを改ざん・破壊する動き、不正なサイトへの接続など登録外の動きがあれば、瞬時に検知し阻止する。情報セキュリティ会社が確認できたウイルスの攻撃のみを防ぐ通常のウイルス対策ソフトとは異なり、未知のウイルスによる攻撃にも対応する。

特定の企業の従業員を狙って特別に作成されたウイルスを使う場合が多い「標的型サイバー攻撃」にも有効という。

作業に手間がかかるホワイトリスト作成も効率化した。メールソフトやワープロ・表計算ソフトを業務で使う際の動きをまとめたひな型を提供する。ひな型を使って1週間ほどディフェンスプラットフォームフォームを動かし必要な動きをホワイトリストに追加、その後本格

ウイルスが動作しなれば検知できないうえ外部に送信する動きやソフトやデータを改ざん・破壊する動き、不正なサイトへの接続など登録外の動きがあれば、瞬時に検知し阻止する。情報セキュリティ会社を確認できたウイルスの攻撃のみを防ぐ通常のウイルス対策ソフトとは異なり、未知のウイルスによる攻撃にも対応する。

併用が望ましい。米マイクロソフトの「ウィンドウズXP」「同ビスタ」「同7」で利用できる。「同8」には正

式発売後に対応する。企
業向けの利用料金は年額
3000円程度。海外へ
の販売や国内の個人向け
に無料に近い利用料での
出荷も計画する。5年後
に年間100億円の売り
上げを見込む。

外部からの不審な通信
要請の遮断や、ウイルス
の感染を妨害するシステ
ムは既に市場に存在す
る。ただ企業内と外部
の接続点（ゲートウエ
ー）やサーバーに組み
込む場合が多く、USB
メモリーなどを經由
してパソコンに感染す
るウイルスには無力だ
った。このため端末側
の対策を強化する動き
が活発になってい
る。